

時	講義内容
<p>10:00 ～ 11:30</p>	<p style="text-align: right;">保育研究所所長、加須福祉会理事長(埼玉) 村山 祐一 氏</p> <p>スタートした子ども・子育て支援制度－制度運用の現状と課題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新制度の全体像と自治体行政 国の行政システムは文科省・厚生省・内閣府の三元化／①私学助成型幼稚園と②市町村委託事業としての保育所、新たに第3の施設として給付型施設体系(認定こども園、地域型保育事業等)がつくられた ／給付制度と委託費制度の大きな違い(子ども・子育て支援法附則第6条) ／市区町村での保育所行政と幼稚園行政の一体化のあり方の模索、など 2. 新制度で大きく変貌した認定こども園制度 新認定こども園法は旧認定こども園法とどこが異なるか－「幼稚園及び保育所等における教育と保育の一体化」→「教育と保育の一体化」へ ／新制度の「幼保連携型認定こども園」は「幼保連携」でもないし、「認定」ではなく「認可」施設??／実態は幼保連携型から混在型への移行? ／特別利用保育・教育制度の導入(子ども子育て支援法第28条)／保育所や幼稚園での混在型保育・教育の推進?、など 3. 公定価格(給付財源)に一本化されたが、内容は幼保二元 －1号認定子ども(幼稚園)と2号認定子ども(保育所)の公定価格(保育費用)の比較、など 4. 保育必要量の構造と短時間保育(8時間)・標準時間保育(11時間)の保育費用の比較 5. 新制度と待機児童問題 待機児童数のカウントと「隠れ待機児童」／新制度と利用調整／地方版子ども子育て会議と5か年計画の進捗、など 6. 保育所不足の基本的要因と対策 保育士の仕事は「キツイ」とは／公定価格で規定されている幼稚園、保育所の開園(所)日数・時間と保育士 ／保育所開所日は300日ではなく250日に／1日の仕事の中に保育の計画・準備・まとめ、会議、研修等の時間を保障 ／保育士のワークライフバランスの保障こそ必要 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>村山祐一氏プロフィール 1969年法政大学大学院社会科学研究科修士課程修了、社会福祉法人加須福祉会三保保育園園長、鳥取大学教育学部教授、帝京大学文学部教授などを経て、現在、全国保育団体連絡会保育研究所所長、福祉法人加須福祉会理事長、日本保育学会評議員。保育行政や児童福祉に関する著書・論稿多数。</p> </div>
<p>【報告】新制度への取り組みと課題への対応</p>	
<p>11:40 ～ 12:40</p>	<p>〔佐世保市〕子ども・子育て支援と公私立保育所・幼稚園・認定こども園の一元的対応</p> <p>1. 佐世保市における子どもと子育てを取り巻く環境 2. 子ども・子育て支援新制度移行に向けた課題対応の考え方 3. 「新させばっ子未来プラン(次世代育成支援行動計画、子ども・子育て支援事業計画)」 4. 施設運営の視点による新制度に向けた対応(公私立幼稚園と認可外保育施設を中心に) 5. 利用者視点による新制度に向けた対応(保育標準時間一本化・保育料階層区分の一元化) 6. 今後に向けた課題と方向性</p> <p style="text-align: right;">佐世保市 稲富 泰彦 氏</p>
<p>13:30 ～ 14:15</p>	<p>〔横浜市〕横浜市の待機児童対策について</p> <p>1. 横浜市の概況 2. 待機児童対策について</p> <p style="text-align: right;">横浜市 渋谷 昭子 氏</p>
<p>14:20 ～ 15:05</p>	<p>〔千葉市〕千葉市の待機児童対策について</p> <p>1. 待機児童問題発生経緯 2. 計画的な保育所整備 3. きめ細かなあっせんによる利用調整 4. 保育士確保策</p> <p style="text-align: right;">千葉市 松永 信隆 氏</p>
<p>15:15 ～ 16:50</p>	<p>〔実践討論(質疑応答・意見交換)〕子ども・子育て支援新制度の活用方策と待機児童対策－来年度に向けて</p> <p>進行：村山 祐一 氏／保育問題アナリスト、加須福祉会理事長(埼玉) パネラー：渋谷 昭子 氏(横浜市)／稲富 泰彦 氏(佐世保市)／松永 信隆 氏(千葉市)</p> <p>[テーマ案] 1. 待機児童の実態と保育所等の整備－5か年事業との関係で 2. 公私立幼保の関係と自治体行政の課題 3. 認定こども園の状況と課題 4. 保育士確保問題への対応 5. 新制度での今後の課題</p>